

町 長	副町長	課 長	主 幹	担当スタッフ	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	
		決裁期日	令和 3 年 4 月 1 日
名 称	R2 年度 第 5 回 介護保険事業運営協議会・地域包括支援センター運営協議会		
日 時	令和 3 年 3 月 26 日 (金) 13 時 00 分 から 14 時 40 分		
場 所	保健福祉総合センター かみん 2 階 研修室		
出席者	斎藤、鈴木、三好、高野、吉河、檜野、谷口、大場、赤川、田中、渡辺、羽賀、佐藤智、筒井、宮下、木澤 以上 16 名		
内容	<p>別紙議案について、第 5 回介護保険事業運営協議会 地域包括支援センター運営協議会を実施いたしました。</p> <p>議題</p> <p><u>1 令和 2 年度介護サービス種類別保険給付実績 (見込)</u></p> <p><u>2 令和 3 年度上富良野町介護保険特別会計予算概要について</u></p> <p><u>3 介護保険条例の一部を改正する条例について</u></p> <p><u>4 敬老祝い金支給条例を廃止する条例について</u></p> <p><u>5 第 8 期高齢者保健福祉計画介護保険事業計画策定について</u></p> <p><u>6 その他</u></p> <p>●<u>令和 2 年度認知症初期集中支援チーム検討委員会</u></p> <p>○町長あいさつ 町長からあいさつをいただいた。</p> <p>○司会進行：田中会長</p> <p>議題</p> <p><u>1 令和 2 年度介護サービス種類別保険給付実績 (見込)</u> (宮下主査による説明) ・詳細については「資料 1」参照。</p>		

2 令和3年度上富良野町介護保険特別会計予算概要について

(三好主幹による説明)

- ・3月議会にて議決。
- ・詳細については「資料2」参照。

3 介護保険条例の一部を改正する条例について (三好主幹による説明)

- ・3月議会にて議決。
- ・資料3「表7 近隣市町村の第8期介護保険料予定額」にて中富良野町の保険料が5,300円となっているが、5,200円に変更。
- ・詳細については「資料3」参照。

4 敬老祝い金支給条例を廃止する条例について (三好主幹による説明)

- ・条例廃止を一部修正し、「50,000円相当の金品」を「10,000円相当の金品」に改正し、令和3年4月1日から施行する。
- ・令和4年4月1日からは、上富良野町敬老祝い金支給条例を廃止する。

5 第8期高齢者保健福祉計画介護保険事業計画策定について

(三好主幹による説明)

- ・第8期高齢者保健計画介護保険事業計画の冊子については、細かい修正や色などつけ、再度配布する。
- ・詳細については「資料5」参照。

内容

○質疑応答

渡辺委員：独居の高齢者が増えてきているのを感じている。外に出ず、家に閉じこもっていると認知症になる可能性も増えるので、独居高齢者が集まり生活してはどうか？また、上富良野町は住民健診率が高いと聞くが、一部のうけてない人はずっとうけてないと聞く。町民全員に予防が大切なことを理解してほしい。

三好主幹：独居の高齢者については、毎年行っている高齢者実態調査にて生活状況などを把握できている。また、住み慣れた環境での生活を望まれる方が多いので、できる限り本人が希望する介護サービス等を提供していきたい。認知症については、第8期高齢者保健福祉計画においても、重要な課題だと考えている。早期発見を目指すためにも、住民健診などを受けてほしい。

鈴木課長：認知症を予防することが最大の目標であると考えている。予防戦略を町がどう検討し、打ち出していくかが今後の課題。健診については、高齢者ほぼ全員に受診してもらっている。40代・50代の仕事をしている方々が受けていないことが多い。なので、

朝の早い時間から昼に時間をずらすことで、受診してもらえることが増えた。健診などを受け予防をし、元気なまま高齢者になってほしい。

斎藤町長：選挙活動で町中を歩きまわっている際に、高齢者の中でも独居の方が多いと身をもって感じた。郊外の高齢者については、地域交通（移動手段）をどうするかが大きな課題だと考えている。若い人たちが流出してしまうことで、高齢化率がどんどん高くなっているのが現在の状況。様々な課題をうけとめ、住み慣れた上富良野のまちづくりを目指していきたい。

羽賀委員：夫が施設に入ると妻の生活が厳しくなることや、比較的費用を安く抑えられるラベンダーハイツには入れるまで我慢をしている話などをよく聞く。施設の費用の相談などは、かみんの窓口でして大丈夫か？

三好主幹：施設によってかかる費用は全く違う。また、本人の症状にあう施設も人によって様々なので、自分に合う施設を見つけるために、ケアマネジャーなどがいるかみんの窓口にご相談してほしい。また、低所得者などについては、負担軽減制度もあるので、相談してほしい。

田中会長：独居の方で、夜の8時になっても電気がついておらず、家にもいないことがあり、近所の人達で探したことがあった。その人は、病院に入院していることが分かり解決したが、今後そのような場合には、どこへ相談すればいいのか？

三好主幹：ポストに郵便物がたまっていたり、姿を見かけなかった際には高齢者支援班・地域包括支援センターの方へ連絡が来る。大抵は、長期入院や子供のところへ行っていたなどが多いが、ごくまれに、お亡くなりになられている方もいた。地域の方の見守りによる気づきはとても重要なことだと感じている。何か不審なことがある際には、24時間電話はつながるようになっているので、こちらか警察の方へ連絡してほしい。

高野委員：緑町の人が新型コロナウイルス予防接種の意向確認をされたと聞いたが、そのようなことは町が行っているのか？

鈴木課長：意向確認などは町は一切行っていない。富良野警察署の方から新型コロナウイルス予防接種の待機時間に、特殊詐欺の啓発運動をさせてほしいと言われている。最近では、ワクチン接種などを装った詐欺も増えてるので気を付けてほしい。

檜野委員：富良野市では30日に新型コロナウイルス予防接種の説明会が開かれるが、上富良野は事業所などへの説明はどのように行っているのか？

三好主幹：事業所の代表者に集まっただき、介護報酬改定の説明を行った際、新型コロナウイルス予防接種のことについても担当者から説明した。

大場委員：どこの町が行っているか忘れたが、最近認知症と診断された人が、長年認知症を患っている人から話を聞くという事業を行っているのをテレビで見た。上富良野町も参考にしてほしい。

三好主幹：うちの町にも、認知症推進委員や認知症サポーターなどの人材がいるが、活用に至っていない。今年、上富良野高校2年生に認知症サポーターのついての授業を1時間させてもらった。このような事業を毎年行い、若い人たちにも認知症について考えてもらう機会を増やしたい。

●令和2年度認知症初期集中支援チーム検討委員会

(主任介護支援専門員による説明)

- ・今年度は初期集中支援チームが介入した事例は0件だった。
- ・詳細については資料「令和2年度初期集中支援チーム検討委員会」参照

○質疑応答

羽賀委員：病院からもらった薬を飲むことで、認知症の進行を遅らせることができるのか？

佐藤智恵美：薬を飲むことで進行をゆるやかにすることができる。人によって薬の量などは、個人差があるので、主治医の先生の判断に従ってほしい。

羽賀委員：認知症を予防するには、通いの場にでることがとても大切なことだと思う。家に閉じこもらず、外に出てたくさん交流など行ってほしい。

三好主幹：補足として、今年度、認知症初期集中支援チームの介入した事例は0となっているが、認知症に対する活動を行っていないわけではなく、医療・介護が連携した対応が1件もなかった。

渡辺委員：夜、道を歩いていた時、自分を抜かしていった車が数分後に引き返ってきて、大丈夫かと話しかけられた。地域の見守り

が行われていることを身をもって感じられた。

三好主幹：徘徊高齢者ネットワークという体制などもあるが、それだけではなく、地域の方々による見守りが何よりも大切だと改めて感じられた。

三好主幹：今年度最後の運営協議会になるので、1人1人挨拶をお願いしたい。

吉河委員：地域の人々が集まれるような事業を今後も行っていけるよう法人としても頑張っていきたい。

檜野委員：勤務先が富良野なため、上富良野の状況などはこの運営協議会で知ることができた。障害・介護・児童分け隔てなく、様々な事業が発展していったほしい。

高野委員：高齢者の相談などについては、高齢者支援班・地域包括支援センターの方へ連絡するよう伝えていく。

大場委員：運営協議会に参加することで、自分も介護保険について考える機会が多かった。介護保険サービスを利用する際、高い金額で利用者に大きな負担を与えないよう頑張っていきたい。

羽賀委員：たくさんの方のことを学ぶことができた。これからは、介護保険などについて学んでいきたい。

渡辺委員：9年間たくさんの方のことを学ぶことができた。ありがとうございました。

赤川委員：介護保険サービスをうける際、地域包括支援センターなどにはとてもお世話になった。これからは自分も、情報提供などを通じて協力していきたい。

以上